

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	107	1年	後期	看護学科	選択	性と健康 Sex and Health	15	1
担当教員								
草薙 康城								
関連するDPキーワード（看護学科）								
○	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人の権利や意志を尊重するために、人間の性の多様性について理解し、それに対して自分の意見や考えを持つことを目的とする。								
到達目標（授業目標）								
①性に多様性を理解し、それに対して自分の意見を説明することができる。								
②避妊法や性感染症について理解し、それに対する自分の考えを述べることができる。								
③最近の高度生殖医療技術について理解し、それに対する自分の考えを述べるすることができる。								
④出生前診断について理解し、それに対する自分の考えを述べることができる。								
回								
授業計画（項目・内容と方法・担当者）								
1回	「性と健康」で何をどんなことをするのか、性に関してどのように考えるか、人と動物における性と生殖について講義する。							
2回	学校教育における性教育の目標および学校教育における性教育の現状と課題について講義する。							
3回	海外と日本における避妊法の現状および性教育との関係について講義する。							
4回	女性アスリートや更年期障害からみた女性ホルモンの重要性について講義する。							

5回	高度生殖医療（体外受精・胚移植術、顕微授精、凍結胚）の現状、AID、および代理出産等の問題点と現在の法律について講義する。								
6回	自分の卵子や精子を凍結する理由や現状、卵子・精子凍結の問題点について講義する。								
7回	性感染症（クラミジア感染症、淋病、梅毒、AIDS）の現状、予防法、および治療法について講義し、性感染症についてどのように考えたら良いか講義する。								
8回	出生前診断・着床前診断の目的・方法と問題点について講義する。								
9回									
10回									
11回									
12回									
13回									
14回									
15回									
16回									
17回									
18回									
19回									
20回									
21回									
22回									
23回									
24回									
25回									
26回									
27回									
28回									
29回									
30回									
成績評価方法及び基準									
受講態度（70%）、出席レポート（30%） トータル60点以上を合格とする。									
教科書	なし								
参考図書等	必要時適宜紹介する。								
授業時間外の学習について（授業準備のための指示）									
なし									
関連科目									
前科目									
後科目	157	臨床病態学Ⅱ(共)	158	臨床病態学Ⅲ					
実務家教員									
医師（医療機関）	草薙 康城								
備考									